

令和8年度多喜浜小学校だより ～アンケート結果から見る児童の姿～

アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。
全11設問の分析から見えてきた、「子どもたちの現在地」をご報告します。

実施期間：
7月2日～8日(WEB実施)
回答率：
児童97% | 保護者93%

1. 充実した学校生活と、前向きな学習姿勢



【行事への情熱】

「学校行事に意欲的に取り組んでいる」

99% 児童

保護者: 99%

【学校への好意】

「学校で楽しく過ごしている」

92% 児童

保護者: 96%

【学習意欲】

「勉強を頑張っている」

92% 児童

保護者: 93%

【ICT活用】

「コンピューターを使った勉強が
分かっている」

91% 児童

保護者: 90%

子どもたちが前向きに学校生活を送り、ICTの活用も円滑に進んでいることが
確認できました。特に学校行事への意欲は児童・保護者ともに99%という極めて
高い結果となり、子どもたちの活気が数字にも表れています。

2. 家庭と学校、見え方のズレ

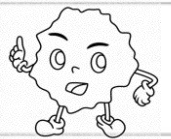


「話している」と捉える保護者に対し、児童は「伝えきれていない」と感じている可能性。



児童の自己評価に対し、大人の目線ではまだ、改善の余地あり。

3. 今後のフォーカス：生活基盤と自己肯定感



【基本的な生活習慣の定着】「早寝・早起き・朝ごはん」



【自己肯定感の育成】「自分自身のいいところを知っている」



【表現力の育成】「自分の思いを相手に伝えることができる」



健やかな成長の基盤となる『生活リズム』の定着が急務です。
また、他項目と比較して『自己肯定感』や『表現力』に課題が見られます。

2学期に向けて、学校と家庭の協働を

- 学校の取組:生活習慣の定着支援、学習の個別フォロー、そして誰もが安心して「自分の思い」を表現し、成長を実感できる学級づくりを進めます。
- ご家庭へのお願い:夏休み明けの「生活リズムの維持」とともに、ご家庭での対話を通じてお子様の「良いところ」に気づき、認める温かい声掛けをお願いいたします。